

2014 AUTUMN

MIDOSUJI
STREET
MIDOSUJI-JOSHITSU-STYLE INFORMATION

Journal



御堂筋
ピクニック

高級食材・ビール・ワイン等の輸入商社 ザート商会による
ポップアップ(期間限定)マルシェ

「世界のフードマルシェ」

in Midosuji

2014.10.9(木)～10.19(日)

沿道ビル前や道路空間にオープンテラス

御堂筋沿道の人気店によるオープンカフェ

Butter GRAND 淀屋橋(常設)

2014.10.2(木) スタート

セント レジス カフェ(期間限定)

2014.10.2(木)～10.19(日)

『御堂筋STREET』御堂筋ピクニック座談会

通り過ぎるだけの“道”から 滞在する楽しみをもった“場所”へ。 御堂筋が街の使い方を進化させる。

株式会社ケイオス
代表取締役

澤田 充

Mitsuru Sawada

御堂筋まちづくりネットワーク
にぎわい創出部会 部会長
(積水ハウス株式会社 開発事業部)

神門 英昭

Hideaki Goudo

大阪府府民文化部
都市魅力創造局 文化課
企画グループ 主任研究員

寺浦 薫

Kaoru Teraura



多様なコラボが街を活性化させる。

澤田 昨年開催した「御堂筋ピクニック」が形を変えて2回目を迎えます。今年は「御堂筋まちづくりネットワーク」と一緒に寺浦さんがやってらっしゃる「おおさかキャンパス」もこのエリアでできたらと、同時開催とさせて頂きました。今日は、今回の社会実験、さらには御堂筋の将来についてお話しできたらと考えています。まずはこれまでの活動やイベントへの想いなど、お聞かせください。

神門 「御堂筋まちづくりネットワーク」は、御堂筋が「活力と風格あるビジネス街」として維持発展することを目指して、イベントやプロモーション活動をしています。今秋は昨年の「御堂筋ピクニック」を発展させ、沿道のビルや店舗が空地にオープンカフェをせせり出して展開するなど日常的ににぎわい創りという視点から、御堂筋の将来像を探ります。大阪市と連携して、側道や歩道のにぎわい活用の社会実験も行います。

寺浦 「おおさかキャンパス推進事業」は、大阪の街全体を「キャンパス」に見立て、大阪の新たな都市魅力を創造・発信しようとするもの。公共空間とアートのコラボレーションによって、都市や地域の新たな魅力を発見、発信することと、アーティストが、アイデアと想いを実現できる機会を得ることを目的に、平成22年度から始めました。今回「アートを御堂筋でやることの意味」は、多様な人とコラボレーションできるということ、道路の機能を維持したまま開催すること。この2つが私たちにっては意味のあることなので、「やってよかった」と思えるにぎわいをつくれるようにしたいです。

今年のピクニックは、より自由度が高いものに。

澤田 昨年の「御堂筋ピクニック」は、上質なにぎわいの可視化ということで、まず「上質」を「フィロソフィーとデザインとスタイル」だと定義づけすることから始めました。「こだわりがある人がそこに来る、その醸し出す雰囲気こそが

上質だ」とそして(中川政七商店)の中川さんによる「にっぽんこうげいバリエーション」、(五感)の浅田さんによる「御堂筋ワイン&デリ」、リニューアルした「大阪マルシェ」の三本柱で構成したのが昨年のピクニックです。多様なプログラムがビジネス空間と調和したにぎわいを生み出しました。多くの人たちが、未来の御堂筋にふさわしい「上質なにぎわい」を体感したのではないかと感じています。

寺浦 澤田さんから上質の定義を聞いた時に、それこそが街づくりの本質だと思いました。

澤田 街というのは、絶対に訪れる人によって決まるんですよ。人の醸し出す雰囲気の総和が、街の雰囲気。上質＝高級ではなく、自分の考えがあったり、ライフスタイルを持っている人たちが少しデザインにも気を配っているところに来ることで、上質な街になる。いろんな人に上質な空気を持ってきてもらったら、この実証実験はいい感じになるのかなと考えています。

寺浦 昨年見せていただいて、「御堂筋ワイン&デリ」で



御堂筋まちづくりネットワーク
にぎわい創出部会 部会長
(積水ハウス株式会社 開発事業部)
神門 英昭
神戸大学工学部卒。勤務先ではデベロッパーとして、住宅地開発、グランフロント大阪、淀屋橋WESTエリアのオフィスビル等の事業開発企画に従事。御堂筋まちづくりネットワークでは2014年4月より名称変更した「にぎわい創出部会」において、会員企業と共に沿道店舗等による日常的な持続性のあるにぎわい創りに参画。



大阪府府民文化部 都市魅力創造局
文化課 企画グループ 主任研究員
寺浦 薫
大阪府にて文化施策の立案、文化事業の企画・実施、府立立之子島文化芸術創造センターの立ち上げに携わる。「大阪・アートカレイドスコープ」、ヨーロッパとの芸術家交流事業「ART-EX」、「水都大阪2009」、「おおさかカンヴァス推進事業」、「プラットフォーム形成支援事業」など数多くのアート関連事業を手がける。



株式会社ケイオス
代表取締役
澤田 充
街づくりや街ブランディングを業務とする株式会社ケイオス代表。主な業績：淀屋橋WEST / 北船場くらぶ / 北船場茶論 / 淀屋橋odona / 本町ガーデンシティ / グランフロント大阪 / 新丸の内ビルディング / KITTE / 大阪北船場スタイル / 上質の大阪。大阪生きた建築ミュージアム推進有識者会議委員・船場地区HOPEゾーン協議会理事。

公開空地とはいえ、お酒を飲みながら過ごせるようにされていたので、「これが日常になったらいいな」と思いました。しかも企業と街づくりをされている。ここにアートが入ってエリアマネジメントが発想できたら、もっと歩いて楽しい街に変わるのではないかと感じました。

神門 参加した感想ですが、日が傾きかけた頃からそぞろ人々が集まってきてワイン片手に語り合う、とてもいい雰囲気でした。昨年の座談会では、「フィロソフィー」浅田さんの北浜にスイーツ文化を根付かせるという想い、中川さんの日本の伝統工芸を広めるという信念が語られてい



ました。今年は、何がクローズアップされますでしょうか。

澤田 今年はザート商会さんの「世界のフードマルシェ」 in Midosuji、「期間限定セント レジス カフェ」、「Butter GRAND 淀屋橋」のオープンカフェがメインとなります。ザート商会の今里さんは、ヨーロッパの街についての造詣が非常に深く、そこから御堂筋のにぎわいにふさわしい「しつらえ」を考えておられます。昨年はどちらかといえば「つくり手ファースト」。フィロソフィーを持った方々を立てて、それに共感してもらえるように仕掛けたい感がありましたが、2回目の今年は街のみなさんにとってより自由度の高いものになります。来ていただいた人々にフランクに楽しんでもらいたい、と。自分流(スタイル)で楽しむ。アフターファイブに同僚と来るのもよし、ご夫婦で待ち合わせて楽しむもよし。ちょっと引っ掛けて街へ繰り出していく人もいれば、ここでじっくり腰を据える人もいて、いろんな楽しみ方が広がると思います。今年はぜひとも参加者に、自分流の楽しみ方を発揮していただきたい。

将来に向けて、チャレンジする実証実験。

神門 今回は側道や歩道を使う社会実験ということから、伏見町から平野町の2ブロックが「御堂筋ピクニック」の中心となります。ストリート全体では点在するイベント構成がどのように見えるか、どのように楽しんでいたにぎわい創りに繋げていけるのかも実証実験のポイントです。

澤田 御堂筋は“通り”です。通りというのは目的があって行くもの。そこに時間滞在という概念はない。そこににぎわいをつくらう、というのは、本来の機能に相反する。だから

あえて“ピクニック”という言葉を使って、機能性ではなく、滞在することの喜び＝“にぎわい”としてやっていこうとしたんです。日常的に使っている場所でやるのが面白い。「御堂筋がこうい、にぎわいになるんですよ」という、将来に向けたビジョンがあって、そこにチャレンジするのが実証実験的なところ。

寺浦 通り過ぎるだけ、機能だけじゃない道路を果たしてつくれるかという、素晴らしいチャレンジですよ。

澤田 「おおさかカンヴァス」は、これまで大阪のさまざまな場所で開催されてきましたが、規制に関してハードルの高い、御堂筋でやってみるというのはいかがですか。

寺浦 まず「道路をそのまま使ってアートを見せたい」というのがありました。おっしゃる通り、道路というのは規制の一番厳しいところ。一方御堂筋では大阪市と「御堂筋まちづくりネットワーク」さんが、新しい魅力を生み出そうと、規制緩和や新しいルールづくりを進めておられる。カンヴァスとコラボすることで、道路のクリエイティブな使い方が新しく開かれるかもしれない。ここでシビック・ブライドが醸成されるような動きがつかれないか、という想いがありました。

澤田 とはいえ完成までのプロセスで、困難なことも多かったのではないですか。

寺浦 結構ハチャメチャな提案もあり実現できなかった作品も(笑)。それと展示にあたってビルの管理者のご協力や理解も必要です。“大人の上質な街づくり”がテーマですが、アートはそういうものばかりではないですし。

澤田 そりゃそうですね(笑)。アートは体制に反するものでもあるし。どういものが規制にかかったんですか？

寺浦 ひとつ例を挙げると「馬を走らせたい」というのがありました。昔、御堂筋ができた時には交通手段として馬が存在したので。歴史に想いを馳せる、という意味。またセスナ機をできるだけ低空飛行させるというもの。これも御堂筋が建設当時は「飛行場でもつくるのか!」と、人々がびっくりした逸話から。こちらは警察以前に航空法に引っかかりました。

澤田 御堂筋をつくった関市長が「大阪の真ん中に飛行場でもつくるのか!」と言われたそうですが、やっぱり飛行場だったと(笑)。

神門 今回は期間限定のイベントが中心ですが、「御堂筋ピクニック」に合わせて、「Butter GRAND 淀屋橋」では店舗前の空地で常設のオープンカフェがスタートします。規制緩和を活用して、沿道空間の日常的なイベントや店舗等の常設利用がより広がっていくことが期待されます。

人がある温もりや記憶の積み重ねが、
「街の使いこなし方」を変えていく。

澤田 最後にイベントを通して、御堂筋のこれからについては、どんな風に考えられますか。

神門 「御堂筋まちづくりネットワーク」だけで新しいことをやっていくというよりは、いろんなところと一緒にやっていくのが、新しいチャレンジのかなという捉え方です。活動内容やエリアも広いので、それぞれの点が線になっていく、という実証実験でもあるし、最終的に線が面になっていかなーいといけないうのかなとも思ったりしています。「御堂筋まちづくりネットワーク」としては御堂筋という線です。けれど、「街を使いこなし」というのであれば、面になっていく時には、もうワンブロック広がっていくような連携が、これからの課題になっていきます。

澤田 「オータムギャラリー」を開催されていく中で、沿道企業の方々の理解や関心に変化はありましたか。

神門 最近では個々のビルや店舗が自主的に企画をしたり、関心が深まってきているように肌で感じますね。イベントの時だけでなく、いろいろな企画を立てて開催しておられますし。本町ガーデンシティの「STYLISH JAZZ NIGHT」も含め、ご存知の方はそれぞれの目当てを持って来られています。

澤田 まだ一部かもしれませんが、街の使い方が上手くなっていますよね。昔のオフィス街にはなかったものです。それと御堂筋って、これまでもイベントだったし、さまざまな使われ方をしてきましたけど、こうやってまったく違う立場の人が集まってやるというのはなかったですね。

寺浦 そうですね。今回はそこが上手く機能したのだと思います。大阪はバラバラに活動する人が多い。それはそれでいい所もありますが、一枚岩にはなりにくい。今回成功したら、すごい実績になると思います。今回、大阪市さんには非常にご協力いただいております。行政が協働し、行政だからこそできる取組を続けていきたいと思っています。

澤田 僕が思うのは人が滞在して、人がある温もりという経験が御堂筋で重ねていくことが、将来につながるのではないかと。10年前の御堂筋であれば、そういうことはなかったですが、少しずつ変化の兆しが見えている。側道の歩行者空間化に向けた社会実験から、“人”重視の道路空間へと変わる可能性も示されています。私たちが手がける「北船場茶論」など、これまでイベントとしてやってきたことが少しずつ積み重なって、皆さんの記憶の中にも、「御堂筋は単なる道ではない」という印象が形成されつつある。そこから、街の使いこなし方も進化していくと思うんです。



御堂筋ピクニック開催に寄せて

人が集まりにぎわいのある御堂筋へ

ザート商会 代表取締役 今里尚史氏が語る「道」という観光資源

20年ほど前から、ドイツをはじめ、ヨーロッパ各地からビール・ワインを輸入している。当時、ヨーロッパ各地を回り、アンティークの家具などを店舗づくりのために集めていた。その関係で、ヨーロッパ各地のお祭りを見たり、取材したりする機会がたくさんあった。例えば、ドイツやドイツ語のフランスでやっている冬の楽しみ・クリスマスマーケットは各地ごとにヒュッテ（屋台小屋）の特徴があって、とても幻想的なヨーロッパの特徴的なクリスマスマーケットだ。そこではすごい物が売っているわけではなく、大人も子供も楽しめるような一般的なものばかり。でもその幻想的な風景を味わって歩くことがとても楽しい体験だった。これは直感的に日本でも当たるな、と思った。真冬マイナス18度の中、ビデオカメラを回し、手がしもやけになってしまったこともあった。かつてはこういった感じで夢中になって取材をしていた。

ヨーロッパ各地で取材を経験する中で一番感じたことは、

お祭りやイベントのほとんどが、各自治体が主体となり、ほとんどが公道で実施されていて、それが観光資源になっているということだ。

ヨーロッパでは、ビール祭りやクリスマスマーケットを見に何百万人の人が訪れる。それがまさに観光資源になっている。日本でも2020年のオリンピック開催も決まり、カジノ法案が成立するかもしれないという事で、こういった自治体が立ちあがって公道を止めてでもお祭りやイベントをやっているかないと本当の日本の観光客は増えないと感じた。

観光といえば、きれいな風景と美味しい食事。だから僕らが出来る部分で言うと、ヨーロッパをはじめとする、世界中の本物の雰囲気・佇まい（ヒュッテなど）を持っていくこと。それによって本物の雰囲気を再現している。日本というのは、イタリアン、フレンチ、ドイツ料理、スパニッシュ、メキシカンなど何を食べても美味しいし、様々な国のものが楽しめる。

こんな国は他にはない。これこそが、日本の観光資源になると信じてやっている。日本に行けば、どこにいても本物が味わえる、それは日本の魅力。だから、社会実験として公道を止めて、人々が集まってにぎわいを出すこのイベント、この革新的なイベントができるのはここ大阪しかないと思う。公道なので様々な問題は出てくると思うが、それをクリアにして「実施すること」が大事だ。

こういった都市部で大規模なお祭り、イベントをやるのは私道や私有地での実施は限界がある。どの国に比べて、どこを見ても公道や公のスペースで街をあげて実施している。そこを理解して、行政としてやり切れるかどうか、地元の本当の力だと思う。

今回の実施は最初の一步である。僕の生まれ故郷である大阪で実施されるこのことは小さな一歩かもしれないが、観光にとってはおおきな一歩であると思う。



1.会場に並ぶヒュッテ 2.世界のグルメ名酒博 日比谷公園 3.スーパーアウトバーフフェスト2013 東京ドーム

MIDOSUJI PICNIC 2013



A. 「世界のフードマルシェ」 in Midosuji



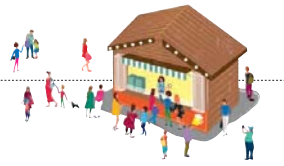
期 間 2014.10.9(木)～10.19(日)

時 間 11:30～21:00 ※ただし9日(木)は18:00～21:00

会 場 御堂筋東側沿道敷地(伏見町～平野町間の2ブロック)

主催：ザート商会 www.zato.co.jp

協力：京阪神御堂筋ビル、三菱UFJ信託銀行大阪ビル、御堂筋野村ビル



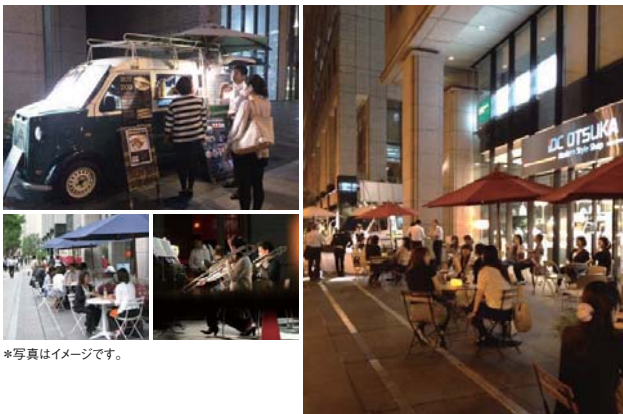
「御堂筋上質スタイル」のコンセプトにピッタリの、高級食材・ビール・ワイン等の輸入商社ザート商会が期間限定で飲食提供するヒュッテが出現！紅葉の秋、かわいらしいデザインのヒュッテ(山小屋)に立ち寄り、のどを潤しながら仲間とくつろぐ…そんなオフタイムはいかがでしょう。



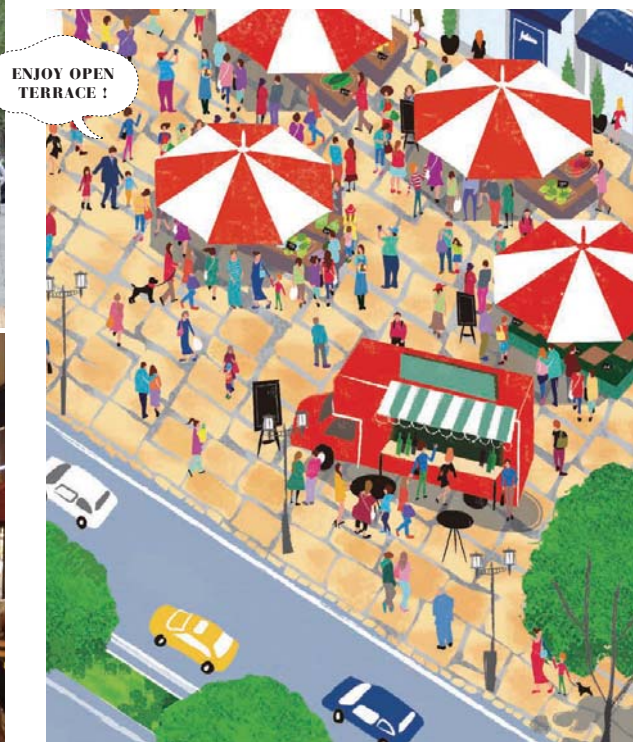
OPEN TERRACE in Midosuji 2014



御堂筋AUTUMN GALLERY恒例のオープンテラスがこの秋も出現します！京阪神御堂筋ビルのオープンスペースに設けられるテラスの周りでは、フードマルシェやキッチンカー、まちかどコンサート等々、催しが多数開催されます。秋の御堂筋をゆったりとした気分で楽しめください。



*写真はイメージです。



御堂筋沿道の人気店によるオープンカフェ

OPEN CAFE in Midosuji 2014

□ 期間 □ 2014.10.2(木)～10.19(日)

B. 期間限定
セント レジス カフェ

10月2日(木)～19日(日) 11:00～21:00

御堂筋沿い本町に位置する、日本初上陸のセント レジス ホテル大阪。ホテル1階フロアに位置する、屋外テラスのあるカジュアルで洗練された雰囲気のフレンチビストロ「ル・ドール」では、ファッション的なテラス席を期間限定で御堂筋沿いにオープンします。パストリーシェフが腕を振るう季節のスイーツやフランスの伝統的なビストロ キュイジーヌを、カフェやワインと共にご堪能いただけます。優雅な大人の時間をお過ごしください。

□ 会場：本町ガーデンシティ1階コリドール
□ 主催：セント レジス ホテル 大阪

C. Butter GRAND 淀屋橋
オープンカフェスタート
(常設)

10月2日(木) 11:00～(予定)

御堂筋の人気店「Butter GRAND 淀屋橋」が店舗前のオープンスペースを利用した常設のオープンカフェを始めます! 秋の青空の下で涼しげな風を感じながら、ゆったりとしたお時間をお過ごしいただけます。

□ 会場：大阪ガス御堂筋東ビル1階
Butter GRAND 淀屋橋



1. クリームブリュレ窯出しフレンチパンケーキ～北海道生乳ソフトクリーム添え～ 2. プレミアムバンケーキ～純生クリーム&北海道生乳ソフトクリーム添え～



3. 菊とクリームブリュレのパンケーキ 4. 珠玉の賛果
パンケーキ～北海道生乳ソフトクリーム添え～

御堂筋にぎわい創出
社会実験について

御堂筋を大阪都心の顔としての魅力・集客力を活かした道路空間へと再編する取組の一環として、大阪市建設局では御堂筋の道路空間を活用したにぎわい創りのニーズや課題等を確認する社会実験を御堂筋まちづくりネットワーク等と連携して実施します。

実験期間: 2014年10月9日(木)～10月19日(日)
実験区間: 伏見町3丁目～平野町3丁目交差点間の東側街区
[社会実験に関するお問合せ]
0120-44-3318

側道の閉鎖について

社会実験に伴い、10月9日(木)・10日(金)の17:30～22:00と10月11日(土)の11:00～22:00は伏見町3丁目～平野町3丁目交差点間の東側側道が閉鎖されます。

●閉鎖期間中は、自動車等は側道を通行したり停車したりすることができません。
交通ルールを守って、現地の誘導員に従ってください。

●荒天もしくは交通状況によっては、予告なく内容の変更や中止する場合がありますのでご了承ください。



御堂筋まちづくりネットワーク事務局
TEL: 06-6263-7541 URL: www.midosuji.biz
※一部プログラムについては、天候により中止等の可能性があります。

